

平成19年度
ふるさと農村活性化基金事業
活動報告書



沖縄県農林水産部村づくり計画課

目次

本庁	
水土里の路ウォーキング	．．．．． 1
北部	
数久田土地改良地区清掃活動	．．．．． 2
環境保全に向けた都市農村交流活動	．．．．． 3
「食料・農業・農村体験環境学習」指導者養成講座	．．．．． 4
田んぼの学校・めだかの学校	．．．．． 5
中部	
西原地区ふるさと街道創造運動	．．．．． 6
たかはなり体験・ふれあいあしびー	．．．．． 7
農業体験ふれあいバスツアー	．．．．． 8
宮古	
学校連携農業施設めぐり	．．．．． 9
八重山	
大保良田地区ふるさと農村環境づくり	．．．．． 10
大川地区防風林帯緑化活動	．．．．． 11
平久保ふるさと花園づくり	．．．．． 12
農業用ダム祭り	．．．．． 13
ふるさといきがい農業支援事業	．．．．． 14

水土里の路ウォーキング

■市町村名■

うるま市

■活動主体または地域リーダー■

主催：沖縄県ウォーキング協会、沖縄県
共催：うるま市

■活動日■

平成19年11月18日（日）

■参加者、人数■

都市住民及び地域住民 225名

■関連事業■

■基金事業を活用した理由■

ウォーキングを通して、土地改良施設の役割の大切さや農業用水の維持管理の大切さ、重要性等について理解を深め、農村の多面的機能・農村地域の資源保全活動の必要性を啓発する。

■活動内容■

美しい農村景観を楽しみながら土地改良施設を通るコース（約12km）を設定した。当日は天気にも恵まれ、沖縄県ウォーキング協会員や都市・地域住民が225名集まり、完歩を目指して歩いた。コース途中では土地改良事業の理解を深めるため施設の説明を行った。発着地に設けられた県産農産物の直売店ではウォーキングを終了した参加者でひざわり、喜ばれた。県産農産物の販売促進を組み合わせ土地改良事業のPR活動を行った。

■活動費用■

21,000円（横断幕）



(写真1)
横断幕を挙げて行進



(写真2)
土地改良事業で整備された畑沿いを歩く参加者



(写真3)
土地改良施設(石川ダム)の説明に聞き入る参加者

数久田土地改良地区内清掃活動

■市町村名■

名護市

■活動主体または地域リーダー■

地域リーダー 久高 義宣

■活動日■

平成19年11月24, 25日

■参加者、人数■

地域住民 130名

■関連事業■

県営畑地帯総合土地改良事業 数久田地区

■基金事業を活用した理由■

土地改良地区内の農道、排水等の清掃作業を実践する事により受益者及び関係者の農業を取り巻く環境への認識土地改良地域への啓蒙を図る為

■活動内容■

農道の草刈清掃、雑木の伐採、排水溝の土砂除去作業

■活動費用■

363,773円 (ミニコンボ、コンボ、ダンプ、ダンプトラック、チェーンソー等)
うち300,000円県基金から支出



環境保全に向けた都市農村交流活動

■市町村名■

北部地区一円

■活動主体または地域リーダー■

地域リーダー 山原女性農業者の会 グリーン・ツーリズム研究部会
部会長 喜友名 慶子

■活動日■

平成19年7月31日(火)「山原グリーン・ツーリズムマップ作成検討会」
平成19年 9月 5日(水)「都市緑化植物の勉強会」
平成19年 9月26日(水)「環境保全講習会・モニター体験」(大宜味村津波)
平成19年10月23日(火)「環境保全講習会(植栽)・交流会」(大宜味村津波)
平成20年2月予定 「山原グリーン・ツーリズムマップ作成検討会」
平成20年3月予定 「山原グリーン・ツーリズムマップの発刊」

■参加者、人数■

「平成19年度 山原女性農業者の会 グリーン・ツーリズム研究部会」
及び「平成18年度 山原グリーン・ツーリズム研究会会員」
及び 地域住民、北部管内のグリーン・ツーリズム実践組織 など 計 約35名

■関連事業■

平成19年度 次世代女性リーダー活動支援事業

■基金事業を活用した理由■

グリーン・ツーリズムの推進により都市と農村の交流活動を展開することで、やんばるの良さや環境保全の重要性を地域住民も訪れる都市住民もお互いに認識することができ、組織や地域ぐるみで継続した環境保全活動を発展させるため。

■活動内容■

組織内でグリーン・ツーリズムを実践する際に取り入れられる環境保全の取組について、各種勉強会を開催し、実際に取り入れている事例のモニター体験を実施。また、大宜味村津波で清掃・植栽を実施し、優良事例づくりを行った。併せて、グリーン・ツーリズムを行う際、受け入れる地域住民も訪れる都市住民もお互いに環境保全活動の内容を情報として入手でき、組織のPRも兼ねた「山原グリーン・ツーリズムマップ」を作成し、活用していく。

■活動費用■

平成19年10月23日(火)の清掃・植栽経費として、 35,196 円
平成20年3月発刊予定のマップ作成印刷費として、 525,000 円
うち458,400円県基金から支出



「食料・農業・農村体験 環境学習」指導者養成講座

■市町村名■

伊平屋村、本部町

■活動主体または地域リーダー■

地域リーダー 西江重信

■活動日■

伊平屋村：平成19年5月11日～12日、26日～27日

本部町：平成19年12月8日～9日、15日～16日

■参加者、人数■

伊平屋村：16名 本部町：7名

■関連事業■

■基金事業を活用した理由■

農村地域の住民を食料・農業・農村環境学習の指導者（地域リーダー）として育成し、エコツーリズム・グリーンツーリズムの受け入れ態勢を強化することにより、都市と農村の共生・対流を促進し農村地域の活性化に貢献する。あわせて、農業や農業施設の多面的機能に対する認識を高め、地域リーダーを中心とした地域住民活動の活性化を促進する。

■活動内容■

伊平屋村在住者及び沖縄本島北部地域の農家及び農業関係者を対象に、エコツーリズム・グリーンツーリズムのインテリプリアター養成プログラムを実施した。

伊平屋村開催の受講者16名が、NPO法人自然体験活動推進協議会（CONE）の自然体験活動リーダーとして認定を受け、本部町開催の受講者7名は認定を受ける見込み（現在申請中）である。

■活動費用■

1,319,400円（講座開催経費一式）うち基金から716,200円支出



田んぼの学校・めだかの学校

■市町村名■

国頭村

■活動主体または地域リーダー■

地域リーダー 西江重信

■活動日■

田植え：平成19年6月13日 稲刈り：平成19年11月19日

■参加者、人数■

那覇市立銘苅小学校5年生 田植え：94名 稲刈り：94名

■関連事業■

県営ほ場整備事業 奥間地区

■基金事業を活用した理由■

農業農村整備事業で整備されたほ場（水田）において、地域の農家や住民の協力を得ながら、都市部の子供たちに農作業を体験してもらうことにより、都市と農村の交流を図り、都市部の子どもたちの食料・農業・農村に対する理解を促進する。あわせて、地域が持つ多面的機能について、受入側として携わる地元農家・住民の認識を深める契機とすることにより、地域住民活動の活性化を促進する。

■活動内容■

農業農村整備事業（県ぽ）で整備された奥間地区のほ場（水田）において、地域の農家や住民の協力を得ながら、都市部の子供たちに田植え・稲刈り等の農作業を体験してもらうとともに、農業農村整備事業の目的や農村地域の多面的機能等について、わかりやすく説明を行った。

■活動費用■

428,100円（学校開催経費一式）うち基金から298,100円支出



西原地区ふるさと街道創造運動

■市町村名■

うるま市

■活動主体または地域リーダー■

うるま市与那城西土地改良区

■活動日■

平成19年12月7日

■参加者、人数■

地域住民・与那城幼稚園児 188名

■関連事業■

県営畑地帯総合整備事業西原地区

■基金事業を活用した理由■

県営畑地帯総合整備事業西原地区において造成された幹線農道の沿道及び植樹帯がギンネム等雑草が繁茂しゴミ等の不法投棄による道路美化環境の悪化している現状を地域の共同作業により道路景観の創造と地域住民の連携、施設の適正な保全を図る。

■活動内容■

「ふるさと街道創造運動」と銘打って植樹活動を実施し「地域の財産は地域の手で」の共通認識を再生し地域住民の共同作業により地域の連携が醸成できた。また、地元幼稚園児に植樹を体験することで、園児を始め関係者が施設への愛着と興味を喚起し道路景観の創造と保全を図ることが出来た。今後も植樹した樹木の育樹活動を定期的に行い地域の共同作業による連携を図っていく計画である。

■活動費用■

950,000円（植樹活動費） 860,000円を基金から支出



たかはなり体験・ふれあいあしびー

■市町村名■

うるまし

■活動主体または地域リーダー■

豊永 栄子

■活動日■

平成19年8月7日（共同作業） 平成19年8月12日（交流会）

■参加者、人数■

地域住民・中野区民（交流会参加者）総勢 150名

■関連事業■

県営かんがい排水事業宮城地区 県営ほ場整備事業宮城地区

■基金事業を活用した理由■

宮城島の史跡・旧跡と土地改良施設を連動させ島の資源財産を地域の共同作業により再確認し、また宮城島の伝統芸能を介し、島内外の住民との交流を図り地域の連携と活性化を目指す。

■活動内容■

東京中野区との交流によりホスト役となる地元住民が、島の史跡・旧跡と土地改良施設の維持管共同作業を実施し世代間を超えた連携が図られた。また、交流会の機会に「再発見島の大きな宝物」テーマに島巡りを実施し土地改良事業及び施設をしたことで、土地改良財産の多面的機能の啓発普及を図ることが出来た。今後とも中野区との交流会を発展継承し地域の連携と活性化に向けた取組を行っていく計画である。

■活動費用■

705,750円 （維持管理作業及び交流会場設置費）全額基金から支出



農業体験ふれあいバスツアー

■市町村名■

読谷村

■活動主体または地域リーダー■

主催) 水土里ネット長浜川、水土里ネットおきなわ

共催) 沖縄総合事務局土地改良課、沖縄県農林水産部、読谷村、地球人会議

■活動日■

平成19年11月1日(木)

■参加者、人数■

107名(那覇市立さつき小学校4年生 他、保護者等)

■関連事業■

県営畑地帯総合整備事業

■基金事業を活用した理由■

土地地区の小学校の児童に農作業を体験してもらい、併せて土地改良施設の見学を通して、農業・農村の果たしている役割とこれら施設を管理、運営している水土里ネット(土地改良区)の役割について理解を図る。

■活動内容■

水土里ネットの「21世紀土地改良区創造運動」の一環として、小学校の総合学習と連携して行われた。

読谷村長浜川土地改良区域内の宇座地区にて予定していた紅いもの収穫体験は、雨天のため中止となったが、読谷村歴史民族資料館及び長浜ダムの見学会を行い、子供達は農業用水の役割や、農業用施設の維持管理の重要性等の説明を受け、農業や水の大切さを学んだ。

■活動費用■

611,310円 (保険料、バス使用料等) うち基金から200,000円支出



学校連携農業施設めぐり

■市町村名■

宮古島市

■活動主体または地域リーダー■

宮古支庁農林水産整備課

■活動日■

平成19年11月13日、平成20年1月29日、平成20年3月予定

■参加者、人数■

西辺小学校生徒(農業体験:1~6年の全校生徒80人、農業施設めぐり:4~6年生44人)

■関連事業■

土地改良総合整備事業西仲佐事地区(区画整理)

基盤整備促進事業西仲佐事地区(団かん)

関連施設：地下ダム資料館

■基金事業を活用した理由■

小学生に土地改良事業によって整備された施設等を見学させることにより、施設の機能や役割を学び、農業と施設のつながりや、農業資源を維持、保全していくことの重要性を啓発し、併せて農業体験をさせることで農業の楽しさや大変さを理解してもらい将来の農村地域住民活動の担い手を育てる。

■活動内容■

宮古島市立西辺小学校の小学生(4~6年生)の生徒で地下ダム資料館と、様々な野菜を作る砂川農園(土地改良整備済)を見学した。地下ダム資料館では、ファームポンド、スプリンクラー等の水の流れを学び、砂川農園では実際に野菜を作る農家から野菜の特性や栽培方法などの説明を受けた。また、地域の農家の指導により野菜(ダイコン、ジャガイモ、タマネギ等)の作付を行い、先生方と協力して水やりや除草などの管理を行ってきた。これらの体験を通し、農業や地域資源の大切さと役割についての理解を図った。3月に農業体験として収穫まで行いこの事業を締めくくる予定である。

■活動費用■

180,600円(保険代、資料作成費、苗代、農業資材代等)



大保良田ふるさと農村環境づくり

■市町村名■

竹富町

■活動主体または地域リーダー■

地域リーダー：西大舩高旬

主催：さがり花育てる会（竹富町土地改良区、大原公民館、子ども会、婦人会、壮年会、青年会）

共催：八重山支庁農林水産整備課 水土里ネット八重山支所

■活動日■

平成19年10月20日（土）

■参加者、人数■

子ども会及び地域住民 約50名

■関連事業■

経営体育成基盤整備事業 大保良田地区

■基金事業を活用した理由■

土地改良事業で造成された施設への植栽活動による美しい農村環境づくりと、地域住民の情操教育の場及び憩いの場の創造を推進する。

■活動内容■

経営体育成基盤整備事業で造成された排水路沿い等に「サガリバナ」を植栽したことで、大保良田地区が生産性だけでなく景観的にも優れた地区となり、都市住民の来訪機会拡大による活性化が期待できる。また、子供から大人まで一体となって作業を行ったことで住民同士の交流が図られ、今後はこの場所が住民の憩いの場として活用される見込みである。

今年度も含めた3カ年計画で植栽を進めていく方針。

■活動費用■

649,950円（重機使用料、苗代など）全額を県基金から支出



大浜地区防風林帯緑化活動

■市町村名■

石垣市

■活動主体または地域リーダー■

主催：八重山支庁農林水産整備課 宮良川土地改良区

■活動日■

平成19年12月9日（土）～平成20年2月16日（土）

■参加者、人数■

地域住民 約30名

■関連事業■

県営ほ場整備事業 大浜地区

■基金事業を活用した理由■

植え替えが必要となっている防風林帯を整地し、地域住民の協力により防風林の植栽及びそれに付帯する防風ネット等の設置を行うことで、防風林の機能回復を図るとともに、農業農村整備事業に対する理解を促進する。

■活動内容■

地域住民がフクギ、ゲットウ等を植栽し、防風ネットの設置まで行ったことで、農業振興を図るうえでのハード事業が持つ重要性について身を持って理解することができた。また、雑木だらけだった防風林帯が再整備されたことで景観が向上し、不法投棄の抑止など環境面における効果もあった。
（植え付けたフクギ等の維持管理を図るため、同基金を活用した「ふるさといきがい農業支援事業」を実施した）

■活動費用■

801,150円（重機使用料、防風ネット材料費、防風林苗代）



平久保ふるさと花園づくり

■市町村名■

石垣市

■活動主体または地域リーダー■

地域リーダー：砂川充宏（平久保公民館長）

主催：平久保自治公民館 大浦川土地改良区

共催：八重山支庁農林水産整備課 水土里ネット八重山支所

■活動日■

平成19年11月30日（金）

■参加者、人数■

子ども会及び地域住民 約50名

■関連事業■

団体営農地開発事業 平久保地区

■基金事業を活用した理由■

子どもたちも含め、地域住民が一体となって植栽作業を行うことで、情操教育の場を創造するとともに農村風景を保持し、土地改良施設の多面的機能を発揮することで地域活性化を図る。

■活動内容■

平久保集落は石垣島の北部に位置しており、ドライブで訪れる人が多いことから、沿道に美しい花園が造成されて農村景観が向上したことで一層魅力ある農村となった。

また、子供から大人まで一体となって植栽作業を行ったことで住民同士の交流が深まるとともに、良い情操教育が行われた。

■活動費用■

399,000円（重機使用料、花の苗代、肥料代等）全額を県基金から支出



農業用ダムまつり

■市町村名■

石垣市

■活動主体または地域リーダー■

活動主体：名蔵ダムまつり実行委員会

八重山支庁農林水産整備課、石垣市むらづくり課、名蔵川土地改良区、沖縄総合事務局土地改良課
土地改良総合事務所、水土里ネット八重山支所、宮良川土地改良区、大浦川土地改良区

■活動日■

平成19年10月13日（土）

■参加者、人数■

地域住民 約1,200名

■関連事業■

国営名蔵川かんがい排水事業

■基金事業を活用した理由■

農業用ダム本体及びその周辺施設を活用したイベントを開催することにより、良好な景観形成、親水機能といった多面的機能を有していることをPRするとともに、農業用ダムが多くの住民にとってより身近な施設となることを目的とする。

■活動内容■

湖面、堤体、周辺施設を多面的に活用した様々な「遊び」に加え、パネル展や管理所見学などの「学び」があったことで、シンポジウム等には関心を示さない層に対しても農業用ダムを効果的にPRできた。

また、地元小学校や農村婦人の会、マリンスポーツチームと連携した各種催しを行ったことで、地域との交流も深まった。

■活動費用■

745,398円（謝礼金、景品代等）499,800円を県基金、残はダム管理費から支出



ふるさといきがい農業支援事業

■市町村名■

石垣市

■活動主体または地域リーダー■

主催：八重山支庁農林水産整備課 宮良川土地改良区

■活動日■

平成19年12月9日（土）～平成20年2月16日（土）

■参加者、人数■

地域住民 約30名

■関連事業■

県営ほ場整備事業 大浜地区

■基金事業を活用した理由■

防風林帯の一部を活用して野菜づくり体験を行うことで、地域住民を防風林帯へ呼び込み、住民の農業を通じた「いきがいづくり」を支援するとともに、参加条件として防風林の維持管理を義務づけることにより、防風林維持管理の担い手へとつなげることを目的としている。（植え替えが必要となっている防風林帯を「大浜地区防風林帯緑化活動」にて整地・植栽し、その幅の一部を利用して野菜づくりを実施）

■活動内容■

防風林は、きめ細かな維持管理が功を奏してほぼ活着しており、順調に再生しつつある。また地元農家指導の下で野菜も順調に生育し、参加者同士の交流も深まったことから参加者の多くは本防風林帯へ足を運ぶことに喜びを感じ、継続の希望が強い。

また、雑草だらけだった防風林帯の景観が向上し、不法投棄の抑止にもなっていることから近隣農家や通行者から喜びの声も聞かれている。

このことから、現在の路線は防風林の維持管理を条件として引き続き使用を認め、次年度以降は路線を延長して実施していく方針である。

■活動費用■

299,250円（広告費用、謝礼金等）全額を県基金から支出

